

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	02-02-05-02
事務事業名	じん肺患者見舞金事業		根拠法令・要綱等
事業開始年度	昭和49年10月1日		
総合計画	大項目 基本目標	健康でやさしきあふれるまちづくり	問合せ先
	中項目 基本施策	健やかで生き生きしたまちづくり	担当課(室)
	小項目 施策	結核・じん肺	保健課
			職・氏名
			健康係長・白髭由美子
			電話
			64-1820

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	・じん肺管理区分4の決定を受けている者 ・じん肺管理区分2又は3でじん肺と合併した肺結核、その他じん肺の進展経過に応じてじん肺と密接な関係にある合併症があり、療養を要すると決定された者
目的(何のために)	じん肺患者に対して、療養を見舞うためのじん肺患者見舞金を支給し、さらに今後の健康管理の推進に努める。
行政活動(どのような方法で)	・月額1,300円の見舞金の支給(9月・3月の2回に分けて振り込む) ・健康増進講習会の開催
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	高齢化に伴う体力低下や合併症の発病を予防し、現在の健康状態を維持する。

事業の目的、対象、内容を考えてから目的妥当性の評価を行って下さい。

事業の実績						
活動実績	実施項目		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	見舞金支給人員	人		672	677	676
	講習会開催回数	回		1	1	1
	講習会参加人員	人		180	126	120
事業費	直接事業費	千円		10,697	10,914	10,677
	人件費	千円		2,415	2,275	1,356
	事業費計			13,112	13,189	12,033
財源	国県支出金			3369	3447	3386
	受益者負担	千円				
	市一般財源			9,743	9,742	8,647
	必要人員	人		0.30	0.25	0.16
結果指標	講習会参加人員	説明				
	結果指標量	人		180	126	120
	対前年比	%		-	70.0%	95.2%
	活動コスト	円		13,112,000	13,189,000	12,033,000
	単位当たりコスト	円		72,844	104,675	100,275
結果指標	見舞金支給人員	説明				
	結果指標量	人		672	677	676
	対前年比	%		-	100.7%	99.9%
	活動コスト	円		13,112,000	13,189,000	12,033,000
	単位当たりコスト	円		19,512	19,482	17,800

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である結果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事業の成果			
成果指標名	成果としてふさわしい指標の設定ができない	式又は説明	
成果指標量	17年度	18年度	19年度
対前年比			
到達目標値		到達目標年度	

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
目的	開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	妥当性評価<A-E>	C
	現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である	課題認識	
対象	事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている		
	事業開始当初の目的から変化している		
行政活動	対象を見直す必要がある		
	事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない		
事業の意図する成果	現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない		
	市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
市の関与	本市が関与しなければならない事業である	効率性評価<A-E>	B
	事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい	課題認識	
コスト	事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である		
	コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい		
効率性の評価	コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい		
	サービスを低下させずにコストを低減することは困難		
職	受益者負担額を見直す余地がある		
	サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない		
目的達成度	最適な手段を求めて職場内で改善に努めている		
	現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
成果向上の可能性	事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている		
	事業に関するOJT(職場研修)は行われている		
市民参画度	事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい		
	成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである		
有効性の評価	成果は向上しており今後も向上する見込みである		
	今後、成果指標は向上する余地がある		
事業の意図する成果	事業について積極的に情報提供している		
	事業実施等で積極的に市民意見を反映している		
事業の意図する成果	事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		
	事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		

平成20年度の状況	
<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input checked="" type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
月額1,300円の見舞金の支給は、例年通り。 講習会については、毎年備前市協議会を対象に市が実施している講習会と、岡山県連合会が独自に実施している講習会の2回実施であったため、各組織のメンバーが同一であることから、平成20年度は市が実施していた講習会を廃止し、県連実施の講習会を支援する。	説明
目標値	結果指標量
結果指標量	結果指標量

総合評価	
市として実施すべき事業であるが、今後見舞金の支給については検討する必要がある。しかし市内に備前市協議会以外に3組の組織があるため、代表組織だけへの団体補助に移行することは、困難が予想される。首長の政治的判断が必要である。	評価区分<A-E> C

平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	個人への見舞金支給を相談事業等に必要経費に組み替え、専門的な支援ができる体制を整備する。	毎年	じん肺患者に対しては、適切な健康相談・支援等が実施でき、事業費の削減も図れる。